



●石谷聡(いしに・さとし)さん
【ライジングゼファー福岡所属】
伊方出身・34歳。父と2人の姉もバスケット選手という環境で育つ。幼少時から競技に親しみ、学生時代に輝かしい実績を挙げ、大学卒業後にプロ入り。ポジションはポイントガード。ハンドリング・パス・ドリブルなど高い技術を武器にチームを支える司令塔。(写真右・上撮影:佐々木啓次)



↑ B1・B2の垣根を越え、西日本の6チームが熱戦を繰り広げた「EARLYCUP」会場の飯塚第一体育館。

貫いてきた地元愛 福岡県全体の振興へ
学生時代からプロまで一貫して福岡で過ごした石谷選手は、地域にも強い思いを持っています。「生まれ育った故郷の人柄・文化が好きです。福岡はバスケット文化も根強い。ライジングをもっと知名度の高い強豪にして、バスケを越えて県全体を盛り上げていけたら」と展望を語りました。運動教室のほか人権や食育講座など、チーム全体で積極的に広報活動に取り組む石谷選手。「明るい未来が待つ子どもたちは、夢や目標にチャレンジすることが本当に大事だし、その過程が先の人生に

バスケット王国・福岡をもっと熱く、さらに上の舞台へ

RIZING ZEPHYR
2019.10.10



↑ 3地区に分かれ、約半年にわたり60試合を戦うレギュラーシーズン。10月から2019-20シーズンは開幕中。

夢

その二. 地元の声援に応え続ける
福智を代表するアスリート

Dream × Sports

バスケットボール



石谷聡

Ishitani Satoshi

選手



Pro Basketball Player #24

ライジングゼファー福岡キャプテン



©佐々木啓次

凱旋試合で見せた チーム第一の姿勢

プロバスケットボール・Bリーグのレギュラーシーズン開幕を目前に控えた9月14日からの3日間、リーグ3大タイトルの一つに位置づけられる「負けたら終わり」のトーナメント戦「アーリーカップ2019」が飯塚市で行われました。

その初戦、ひときわ大きな地元の歓声に迎

やることは変わらない。
自分らしく、チームのために

目を迎えた最古参メンバードとして、常にチームを第一に考えています。

えられたライジングゼファー福岡所属の福智町出身・石谷聡選手。先発出場した石谷選手はチームの司令塔としてゲームをコントロールし、凱旋試合を勝利で飾りました。続く2回戦では接戦の末に敗れましたが、知人や後輩、ファンの声援に献身的な熱いプレーで応えました。

昨シーズンを最上位リーグB1で戦ったライジングは今季B2からの再スタート。石谷選手は新キャプテンに就任しチームをけん引します。主将の重任にも「特別に変わることはありません。それでもチームの空気が悪い時は、自分からコミュニケーションをとってまとめなければいけないと思います」と11年目を迎えた最古参メンバードとして、常にチーム

新キャプテンに就任したチーム最古参。そのプレーで地域の期待に応え続けてきた、町を代表するアスリートが掲げる目標とその先。